

令和6年度（2024年度） エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業（鶴居区域）



（鶴居村幌呂地区エゾシカカメラより）
釧路総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係

事業概要

実施市町村：鶴居村

実施地域：下幌呂

受託者：北泉開発株式会社

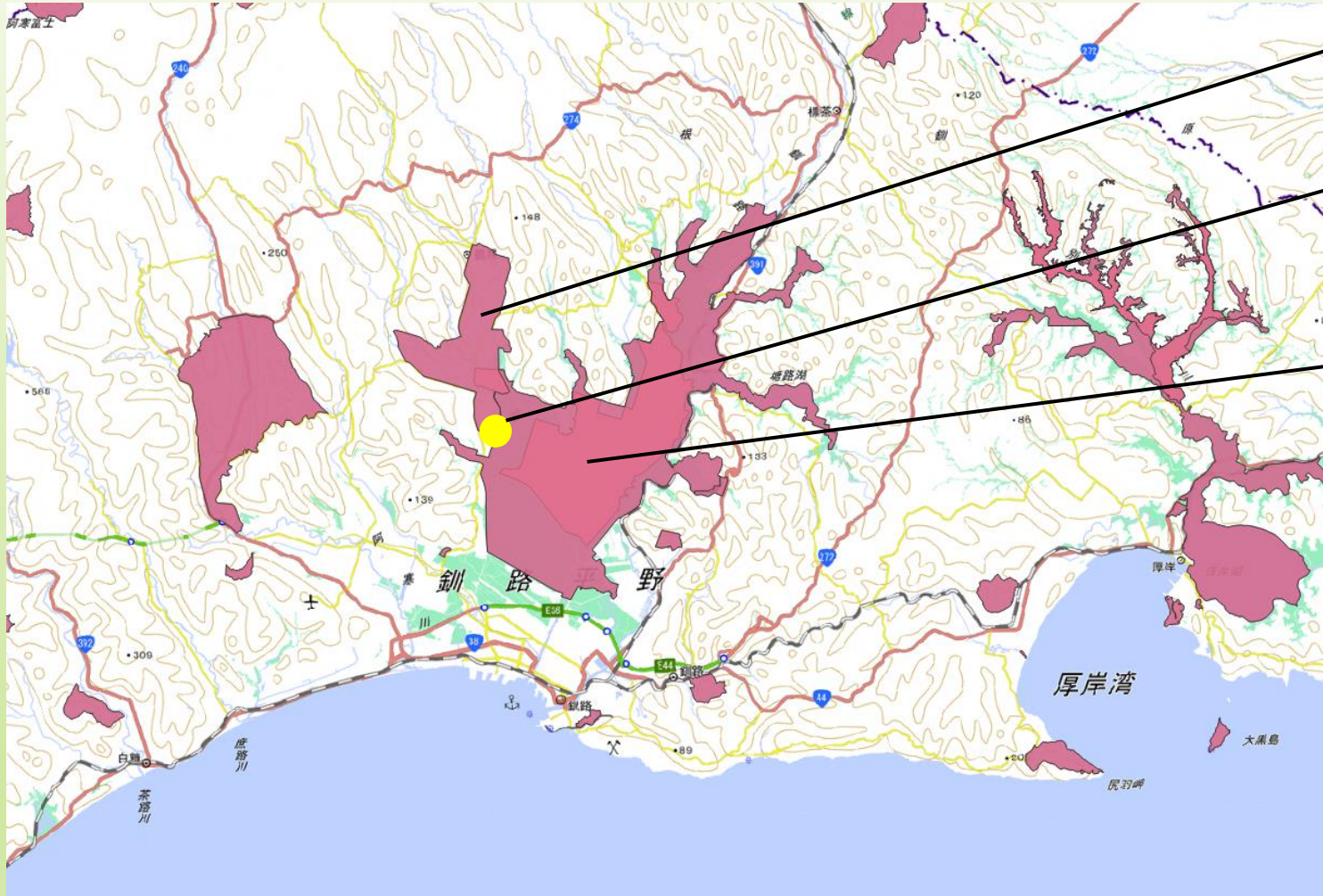
契約期間：R6.10.22～R7.3.14

目標頭数：50頭

捕獲頭数：11頭(2/3時点)

捕獲方法：罾いわな

事業実施位置図



特定猟具使用禁止区域(銃)

実施地: 鶴居村幌呂

国設鳥獣保護区

地理院標準地図
(1/250000)

鶴居村におけるエゾシカ被害の現状

- 阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園に挟まれており、農林業に甚大な被害を及ぼしている。令和5年度は約6千万円の農業被害が発生。
- 周辺牧草地に多数出没し農業被害をもたらしているほか、エゾシカを起因とする交通事故など生活環境被害が発生している。
- 鶴居村幌呂地区は、釧路湿原国立公園に隣接しており、特定猟具禁止区域（銃）に指定されているため、銃での捕獲が進みにくい。



令和6年5月から自動撮影カメラを設置し、調査を開始。

事前調査



(R6鶴居村)

囲いわな設置前の準備

R6.9.26 囲いわな設置場所付近に誘引餌を設置。

※誘引餌（ベースペレット）



(R6鶴居村)

ヒグマ出没

R6.11.18 エゾシカ用カメラにヒグマが撮影された。

R6.11.19～ 誘引を一時中止した。 ※誘引餌（国産ビートパルプ）

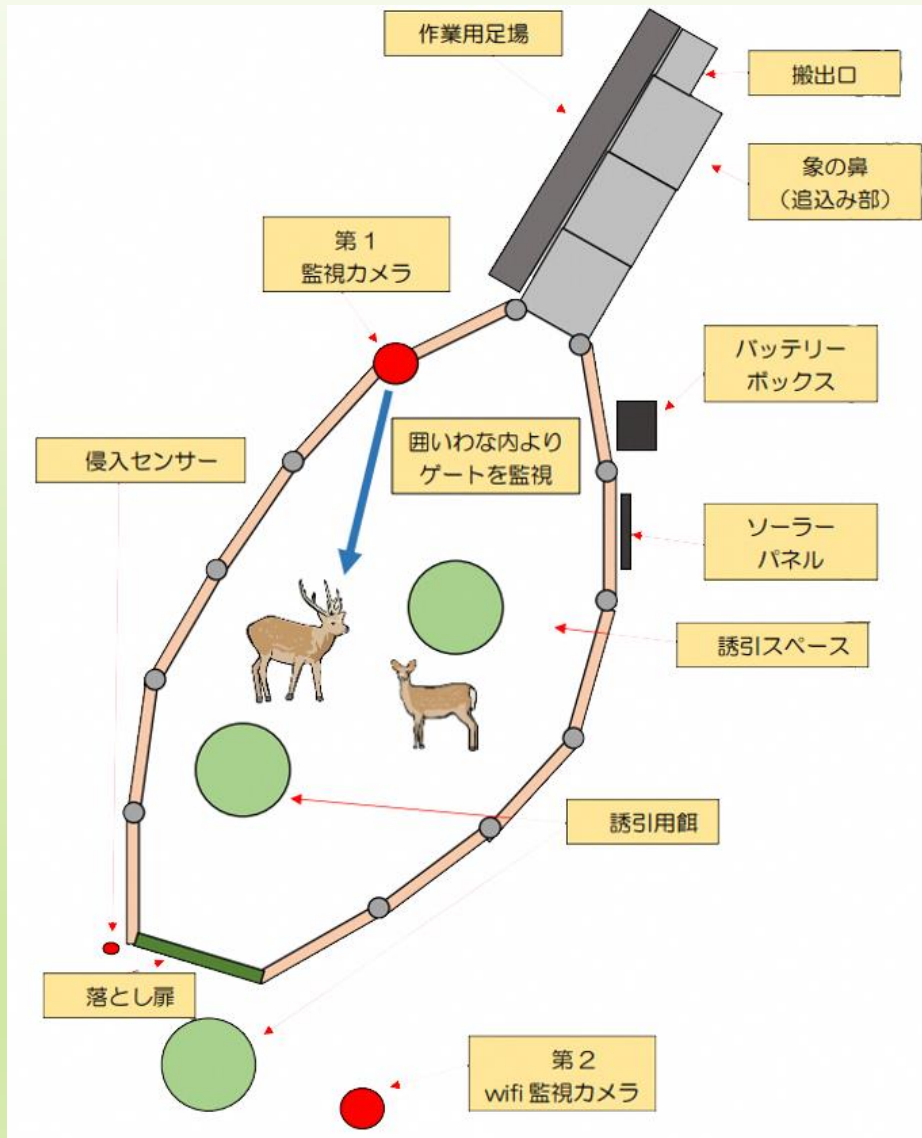


(R6鶴居村)

囲いわな設置 (R6.12.2) (※写真はR4作業風景)



囲いわな平面図・捕獲手順



- ①シカがわなの中に入る
- ②専用アプリに通知がいく
- ③捕獲担当者（受託者）がアプリ上の捕獲ボタンを押す
- ④わなのゲートが閉じる
- ⑤受託者が捕獲個体を追い込み部（象の鼻）へ追い込む
- ⑥追い込んだシカをユニックに乗せ有効活用施設へ

囲いわな内部の様子



(H30)

囲いわなの内外にカメラを設置しており、専用アプリにて常時確認可能。

※捕獲ボタンは受託業者のみ押すことが可能。



(R1)

捕獲の様子（追い込み後）



(R4)



(R4)

誘引餌の変更

R7.1.10 くいつきが悪かったため誘引餌を変更。
ベースペレット→ルーサンハイ



(R6鶴居村)

まとめ

	12月 (12/2～31)	1月 (1/1～31)	2月 (2/1～3)
捕獲頭数	0頭	10頭	1頭

- ・12月上旬は囲いわなへの警戒心があった。また、少雪のため、誘引餌への食いつきが良くなかった。
- ・餌をルーサンヘイに変えてからは食いつきが良いため、牧草を好む傾向があると考えられる。
- ・今後は2月初旬の大雪で自然採餌ができなくなり、誘引及び捕獲が進むと考えられる。